京都帝國大學新聞

月二回發行　五日・廿一日

定價　一部五錢(郵稅五厘)　一年一圓(郵稅とも)
廣告料　五號活字一行金六十錢　記事中は右金額の二倍　掲載頁の指定は二割増
發行所　京都帝國大學　學友會新聞部　電話京都上九八〇番　振替大阪七三、八九
發行編輯兼印刷人　入山雄一

中華純粹　北平御料理　桃園亭　京都市寺町四條下ル　二階客室増築　電話下六九五二番

緊縮の嵐の中に經濟研究所を計畫

學の內外の輿望を背景に、敢然今年も豫算を要求

經濟生活や諸產業部門に於ける生活が社會生活に極めて密接な關係があるのに、現在に於ける經濟學部の學生々活は一年の半を休暇で過ごし、その間研究の舞臺に惠まれてゐないのにかんがみ、さきに同學部では學制を改革し、ゼミナールを充實して、この

『缺陷』を補つてゐるが、更に學部に附屬した經濟研究所を設立して一段の發展を期せんと計畫してゐる、この經濟研究所は諸產業、經濟部門に亙つて實際的材料を蒐集し、これを基礎として研究をつゞけやうといふのであるが、この研究所が、今日までの他の研究所と異る點は

(一)從來のものは官廳、會社、銀行の調査によるレポートを蒐集夫を基礎としてゐるが、本學に於けるこんどの研究所ではこれら諸機關の調査も勿論蒐集するが、それ以外に現代官廳、會社でやつてゐるやうな一次的調査も研究所の手で行ふこと(二)この研究所に於ては教授、助教授、助手等が勿論研究するのだが、そのほか學生が參加して、經費さへ許せば、全經濟學部學生を主體とすること

の二點にあるので、この點は各地の商大や外國の大學にある研究所に例を見ないばかりでなく、帝大に於ては最初の計畫である、以上の如く、この研究所設立に關しては經濟學部を始め

『總長』も大乘氣であるが何しろ世を擧げての緊縮時代なので、果して豫算が通るかどうか、豫算としては既に昭和五年度から要求されたのだが、同年は無慘に一蹴されたので、來年度も五箇年繼續事業として約七十萬圓、經常費十萬圓を要求してゐる、この豫算が通れば研究所の誕生をみるわけだが不幸通らなければ、すべてが計畫だけに終るのだ、もつとも特志家があつて、無條件で筋の通つた金を寄附して呉れゝば喜んで受けてもいゝとのことだ、右につき

『小島』經濟學部長かたる　豫算さへ通れば、早速仕事に着手して、先づ、これまでの諸調査を蒐集しなければならない、將來、これによつて學生の研究範圍が大いに擴るわけだが、それによつて餘りに負擔が大きくなれば、現在の學制を變更してもよい現在の研究室といふものは全く教授の個人的ライブラリーに過ぎぬのだから、私としては經濟研究所のできると否とに拘らず研究室をできるだけ學生に利用させようと思つてゐる、更に助手、副手を增すとによつて研究をもつと綜合的にしたい

總長を迎へて通俗講演會を開催

研究所も新築して充實した樺太演習林

樺太敷香郡泊岸にある本學演習林に今度新しい研究所が設置された延百坪の建物で此附近には珍しいモダンなものである、主任として夏は沼田教授指導の下に十一名の學生が行く事になつてゐる、目下同所に使用する家具が舊本館階上に山積みされてゐるが演習林には惜しい位立派なものである、北海道でつくるより、こちらで造つて大阪から船便で輸送する方が安くあがるのだといふはなし、尚新城總長は、去月廿七日京都發竹崎農學部長、市河演習林長、水谷書記などゝもに同演習林を訪れたが、これは新城總長、就任以來最初の演習林めぐりである、同所では此珍客を迎へ、創始記念を兼ねて、今五日左記の通り通俗講演を行ふ筈

寒帶に於ける作物の品種に就て　竹崎教授
ツンドラの利用に就て　志方教授
題未定　市河教授

炎暑も何のその

玉なす汗をぬぐひもあへず見學に！實習に！

工學部

土木　二三學年は實習見學の爲め鐵道省二〇人、內務省九人、府縣道廳一二人、市役所一〇人、朝鮮臺灣五人、其他一一人の割當で出かける

機械　二年生廿四名は松村教授津枝田助教授同伴七月十一日から十八日まで名古屋、大阪、神戶吳、八幡、長崎へ旅行して兵器廠

工業化學　三年生は七月十一日から三週間八幡製鐵所、吹田の乾製紙會社、宇治火藥製造所、王子製紙北海道工場等で實習する

時計會社、自動車會社、造船所、製鐵所等を見る外二、三年有志は全國各地のこれ等工場を見學する

採鑛　全國各地の炭礦鑛山へ
冶金　製鐵所、銅山、汽車會社、造船所等へ
建築　二三年は七月八日藤井教授引率の下に柴島淨水場、市岡抽水場、鶴町冷藏庫見學、二年は七月九日から十二日まで大阪で、三年は七月十一日から十四日まで東京で各種建築物を見學する、其の外實習は約三週間の豫定で東京大阪の建築事務所、土木會社、工務所等へ、一年は日光廟の建築細部を見に出かける

電氣　二年生卅二名は二週間の豫定で京阪電鐵へ、三年生は遞信省の電氣試驗所、鐵道省電氣局遞信局、各市電氣局其他全國各地の電氣、電鐵會社に一、二名宛割當學外實習に出かける

農學部

農林生物　木原教授は滿洲農事試驗場へ逸見教授の菌類採集旅行は四國へ、湯淺教授は八月末より鳥取砂丘、大山方面に採集旅行に出かける

林學　朝鮮行きは七月七日より十五日まで太田助教授、關口助教授(兩助教授は旅行のみ)山本助手引率で兵庫縣山崎營林署―岡山地方―學―智頭林業見學―大山登山―益田地方見學―長門峽以學を了つて一先づ解散、ついで朝鮮演習林に行き、樺太行きは七月七日より十九日まで沼田教授、丁野學士引率で、目黑林業試驗場見學―登別湖畔及硫氣孔附近の植物生態視察―北大演習林見學、支笏湖畔森林視察―野幌林業試驗場見學―石狩川源頭林況視察―大雪山登山で一先づ見學旅行を終り、樺太演習林に行くものは更に北上し十九日より實習に入る

農林化學　十一日より廿日まで、林助教授の引率で東京の工場及化學研究所の研究に出かける

農林工學　七月廿日頃より約一月間の豫定で朝鮮に工事視察及び實習を行ひ、新潟、石川、富山方面に出かけるものは八月上旬頃から矢張り工事視察、地質學實習旅行は九月一日より四日間德島―眉山―城山―阿讃山脈―鳴門、屋島栗林公園―高松市―小豆島寒霞溪の各地を見學、砂防工學實習は七月中旬過に白山へ森林工學實習は八月中旬過ぎ秋田へ

農林經濟　去る一日より四日間橋本教授、杉野講師引率の東海道沿線見學旅行は愛知縣安城町碧海郡產業組合事業の一般見學―辨天島養魚場見學―農林省興津農事試驗場―富士郡業信用購買販賣利用組合―伊豆大場伊豆畜產販賣購買利用組合大場受乳場並極東練乳工場見學尙希望者は茨木縣反部日本國民高等學校視察を行ふ黑正教授、上田助手引率で七月六日より七月十日迄、岐阜、富山石川、各縣に農史資料探訪を兼ねて見學旅行を行ひ尙途中黑正教授は岐阜富山兩縣では講演をする筈であると

動物學科は瀨戶鉛山へ

六日から二週間

理學部瀨戶臨海研究所で、例年の如く、二十二日から月末まで、中等教員の生物學臨海實習會をやることは既報の通りであるが、出席者は遠く臺灣、樺太からもあり、申込者の中から三十一名を決定した、又理學部動物學科一回生六名及醫學部一名農林生物一名の學生は、駒井教授赤塚助教授、龍助手と共に、明六日より二週間同研究所に於て實習をやることになつて、實習課目は赤塚助教授指導のもとに浮游生物(プランクトン)の檢鏡、駒井教授指導の海產動物の解剖並發生及び同所々有船入神丸にて、前後三回に亙つて、外洋採集及び磯採集に從事することだ

植物では秩父地方へ

理學部植物學教室では、本五日、同教室の小泉助教授、植物學科一回生一名の一行が、埼玉縣秩父地方に行つて、同地方に於ける植物の分布狀態を調べる、日數は約一週間の豫定

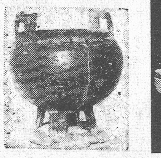
來學したハワイ大學生

休暇を利用して日本學生と交驩に

去る廿八日ハワイ大學の見學團が本學を訪れた、一行は同學の安達正之・ポール大隅、ハーバート・ウッドの三君で、希望者國際部主任の島田文雄氏の案內で嵐山から本學へ梅雨煙る中を自動車をとばしたが、何れも背廣服のシックないでたち、日にやけた元氣な顏をにこ〳〵させて頗る愛嬌がいゝ、本學では文學部陳列館の考古學教室で、古代文化の遺物を熱心に眺めたが、團長格の安達君は流暢な日本語で―

私の方の大學は六月二日から暑中休暇になつたので、休みを利用して見學に來たわけです、東京では各大學を巡つて主としてイングリッシュ・スピーキング・ソサイテイの人々を通じて交驩しましたが、辯論大會に辯士の派遣もやりたいといふやうな意見も出ました、日本の大學は何れも規模も大きく生徒も多いので、ハワイ大學と比較になりませんが、却々皆勉強家のやうですね、ハワイ大學は文理兩科に分れ、學生の四分の一は日本人です、英語科の中に新聞學科もあり、毎週一回小型の新聞を發行してをります

などと語り、本學にイングリッシュ・スピーキング・ソサイテイがないのかとしきりにきいてゐた、なほ京都希望館では廿九日夜歡迎會を開き、愉快な國際的交驩に一夜をすごした(寫眞は來學したハワイ大學生)



寫眞は考古學教室に著いた狛犬とスキタイ系の銅器(狛犬上は雄、下は雌)

考古學教室に著いた珍品二つ

……鎌倉初期の狗犬

……スキタイ系銅器

最近考古學教室に珍しいほり出しものが二つ到著した、一つは和泉國東寺からこの程入手した高さ一尺五寸の二基の狗犬で、鎌倉初期の作品といはれてゐるが、その製作年代から云つても、非常にイムプレッシヨンの強いその美術的價値から云つても類品中の最優秀たるを失はないだらう、と濱田教授も得意である

いま一つは北支那發見のスキタイ系の銅器(高さ約七寸)で、これは考古學教室の北平に於けるほり出しもの、これは近年ロシアの考古學者カザロフ氏の發見物によつて漢代中期のものと推定されてゐる右に關し考古學教室の梅原講師はこの種の銅器はスキタイ系銅器として、シベリア、南ロシア、更に遠くはハンガリー方面にも多く發見されるものであるが、こんど入手したものは、特に北支那で發見された同系銅器であるといふ點で、考古學上極めて重要な意義をもつてゐる逸品であると語つてゐる

文學博士となつた成瀨、田中兩助教授

何れも得難い研究の結晶

成瀨新文博

本月二日文學部教授會で左の二氏の學位論文が通過した

成瀨淸助教授、氏は明治十七年東京に生れ、一高、東大獨文科卒業、慶應豫科教授三高教授を經て大正九年本學文學部助教授に任ぜられ昭和四年以後西洋文學第一講座を擔任してゐる

論文は「疾風怒濤時代と現代獨逸文學」參考論文「近代獨逸文學思潮」の二篇で何れも既に出版されて一般に知悉されたもので、ある、特徵と云ふ可きは廣汎複雜な獨逸の、怒濤、ロマン、表現主義の三思潮を歷史的に連鎖し現代の表現主義が前の二つの思潮から導かれて來た由來を極めてゐる、自然と神と人間と藝術の四方面に亙り三大思潮の本質內容、表現法等を詳しく說いたもので、作品或は作家の生活を通じ、それ等の思潮を精細に觀察した、內容は哲學宗教倫理にも及んでゐるが歷史的連絡を缺見せんとする氏の新しい見識が現はれてゐる、特に日本に今迄に紹介せられなかつた作品等をよく讀んでそれを紹介した事などは學界を裨益する事が多い

田中秀央助教授　氏は明治十九年愛媛縣に生れ三高東大を卒業、東大文學部講師を經て大正九年本學助教授に任ぜられラテン、ギリシヤ語の講座を擔任してゐる

論文は「羅甸助辭 Quin 及び其慣用に就て」の一篇である、全文ラテン文にて綴られ日本學位論文としての空前のものとも云はれる、Quin はラテン文章法で重要複雜な意味を持つものである、これを歷史的に考察し四大時代に分け如何に使用せられてゐるかを實例につき考證し、大綱細目に亙る用例を綿密に研究し、Quin の意義の根本を究め語源にも及びその意義の分化した徑路をあとづけた、日本の此方面の研究に於ては未曾有のものである

田中新文博

新工學博士

採冶の山田教授

最近の教授會を通過した新工博―それは採鑛冶金の山田賀一教授で、論文は「粉鐵鑛の還元燒結及び第一酸化鐵珪酸系の平衡に關する研究」(英文)である、因に山田賀一教授は明治廿五年五月京都府下太田郡福知山町に生れ、大正六年本學工科採鑛冶金を特待生で卒業後直ちに本學工科講師囑託同七年助教授同九年冶金學研究の爲め滿二年獨英米に留學、同十二年教授同十三年支那へ出張し現に本學採鑛冶金第三講座を分擔してゐる

山田新工博

汗の中に働く學生の夏季勞働

共濟部大童の宣傳

別項の如く共濟部では過般名古屋市に於て、學術講演會を開催して同市民大衆にアッピールし、大成功を收めて歸つたが、その後も、夏季休暇中の求職のビラを、京都大阪、名古屋、神戶各市內及び電車停留所等に貼り出して、その効果を期待してゐたが、六月末日現在に於ては　京都十件、大阪九件名古屋　滋賀、兵庫、和歌山、奈良各一件の申込を受け、この分なら先づ大丈夫だらうと喜んでゐるが、昨年までは、求人申込者の範圍は京都と大阪とに限られてゐたもので、新に近畿各地方からも申込のあつたことは何と云つても成功と云はねばならない、仕事の種類及び人員は―

▲研究員二▲外交員四一▲講師七▲飜譯一▲製圖五▲家庭教師四▲水泳教師一▲鐵工所指導員一▲氷配達二▲測量一、計六五

であるが右のうち外交には、石鹼、樟腦、セメント、ソケット、乙女糊等があり、又第一徵兵保險では二十圓の固定給を以て招聘してゐるさうだ

左翼、論陣を張る

廿五日の講演部例會に

六月二十五日午後講演部學內例會が法經第二教室で開催された、聽衆約三百、佐藤明君開會の辭を述べ　經濟學部　稻葉駿作君「最近の學生運動」と題し

日大、關大に起つた授業料値下運動について學校當局の斷然たる以前と現今との差異を述べ、學生主事の仕事を暴露して最後に現今學生の左翼化はプロレタリヤと密接に關係することによつて解決せらる

と結び、岡部利良君は「合理化と日本資本主義」なる題の下に、合理化は資本主義の矛盾の激化であると述べ、國際的の立場と、國內的の立場からこの問題の解剖を試み各種の事例を引用して約一時間に及び、岡本三樹君は「納むべからざるもの」と題して或會社の積立金とその積立者たる勞働者の話を前置きとして、學友會の內狀を暴露し學友會費の納むべからざるものであることを力說、平井半三君は「ソビエットロシヤを守れ」の題の下に論陣を張り、殿りを承はつた松井浩君の學內風景批判は學生々活を哲學方面性的方面等から批判を試みんとしたが論旨徹底せず遂に結論を急ぐの止むなきに到つた、最後に花井貫一君の沈痛なる閉會の辭あり午後六時終了

思想善導の講習會

恒例の文部省主催學生主事思想善導講習會は　去る一日から明六日まで文部省會議所で行はれてゐるが、ことしの講師は―本學高田保馬教授、東大紀平正美、吉田熊次、河合榮治郎の諸教授、內務省富田健治氏、新渡戶稻造氏

などで、之らの講師を通じて社會思想、哲學の新知識を吹き込み思想善導の祕訣を授けようといふのだが　本學からは三澤學生課長を始め、谷內、長崎の兩思想係主事が出席し講習を受けてゐる

在鄉將校連の講習終了近し

四月十四日から本學で開講中の陸軍省主催第四回陸軍在鄉將校同相當官の社會教育及び地方自治に關する常識涵養講習會はいよ〳〵來る八日午前十時終了式を擧げることになつたが意外に盛況で當初申込六十四名中今日まで續けた人々は大野邦中將以下約五十名であつた尙當日は陸軍省よりも一名參列し式後都ホテルで晩餐會を開くと右に就き小野田大尉に感想を聞くとそれに各講師の熱心であつたこと講習會々員の熱心であつたことの態度の眞摯であつたことは非常にうれしかつた科外講座の少年團の話なんかも爲になつた、今迄東京、大阪、福岡で行はれて今度四回目を京大で開催したのであるが京都での開催がこんなにおくれたのも色々の事情があつたからである兎に角多少の非難はあるがかゝる催は學校當局にも爲めになつたであらうが吾等の方でも大いに社會生活上の常識に得る處があつて喜ばしい、總長並に各講師に感謝する次第である

北平大學教授

三日本學來訪

過般來朝した北平大學教授團は三日本學を來訪し直ちに吉田教授の案內で物理教室を見學し四日は京都第一中學、同志社其他を訪問見學、五日は京都御所を拜觀した

共濟部六月の成績

共濟部六月中の紹介成績は件數總計四十八件に上つたが、內譯左の如く家庭教師、製圖、筆生飜譯等が目立つて多い(數字は件數)

▼家庭教師九▼筆生八▼飜譯七▼掃除三▼校正三▼外交一▼花賣一▼地圖一▼製圖六▼ポスター三▼ビラハリ三▼廣告印刷一▼設計一▼切符賣一

尙金部では一日から二十日までは今までより一時間繰り上げて午後三時まで、二十一日から八月中は正午まで執務するとのこと

教官食堂改善

お次は學生食堂

本學庶務課長の肝いりで先生方の食堂が面目を新にした、といつても未だ完全とは言へないが以前は只廣いガラン堂の中に殺風景に食卓が並んで居たのを、氣持よく便利で、安く甘くと言ふ趣旨で先づ新聞雜誌電報用紙等を置いた机三脚と郵便箱を設けて自由に樂に早く利用出來る樣にし　一方テーブル椅子を整頓して食後の休息に便利にし　其他植木鉢の配置、親聞雜誌の數を增し一覽し易く並べる等どこまでも先生方のオアシスとなる樣にといふのである、食事の方は今迄アヅマヤ一軒で日本食(三十五錢)洋食(五十錢但し菓子付六十錢)の二種であつたが、今度四條神田川の鰻を取る樣にしたらといふので試食をした處評判がよかつたのでいよ〳〵九月からは完全にこれらの設備を終へるといふのである、でこのお次は學生地下食堂の改善を行ふといふ庶務課長のお話に學生大衆は大なる期待を持つ

映畫小說力作十四篇

本紙募集の懸賞映畫小說は先月末日を以て締切つたが、應募原稿十四篇に及び　目下審查中、次號本紙上に當選作を發表する豫定、應募原稿の題名及び作者は左の通り

群を離れて	藤原　英峰
ある青春	韮山　渦雄
怒濤時代	龍安寺　光
彼等と生活	監澤　重遠
どうすりやいいんだ山路詩弦璃	赤城　正夫
學生と職場	齋藤　勝雄
人間大學生	川原　純
學生氣質抄	鈴木　亮一
踊る學生	片山　直
一群の生活	吉田　熏
散る	二木　茂
角帽の駄法螺	W　T　R
璃智子の日曜日	落合　旅人
怒號	

風車

○「經濟研究所の創立「新しき酒は古き皮嚢に盛るを得ず」といふ譯か

○緊縮政策、研究費をねらふ「哲學の貧困」どころか、學問の貧困化時代來る！

○學生主事の善導講習會、お若いのに御苦勞さまなことで……

○各地の高校とゝもに三高また騷ぐ新しきストームの形式さ

○理、工、農の各學部一齊に見學へテクニックとゝもに働く者の苦惱を味つ來てくれ！

次回發行は…八月五日です

七月五日より　海の用品、山の用品賣出し　於二階運動具賣場

海の用品
男子用海水著　〇、三〇より
御婦人用　〇、五〇より
御子達用　〇、三〇より
ケープ(大人用)　二、三〇より
ケープ(御子達用)　一、四〇より
海水帽子　〇、二五より
同　浮袋　〇、八〇より
同　水傘　〇、六〇より
海　特製組立輕便ヨット　五、五〇より　四〇、〇〇等

山の用品
スキス製ユッヘル　四、八〇より
湯沸器　二、五〇より
飯盒　〇、八〇より
水筒　〇、八〇より
スエーデン製山刀　一、五〇より
リンゲン製小刀　一、三〇より
ピッケル　〇、九五より
大入用登山靴　一、八〇より
テント　六、三〇より
其他携帶毛布、及カバー各種取揃へ　一、二〇より

丸大　京都四條

靴！靴！靴！
◎代表的に安い
◎代表的に堅い
各種の靴を揃へて居ります。
京大學友會共濟部指定
村上新三郎　本店　新町通り陸馬口上る　電話西陣三八五五番　支店　吉田近衛町一中東角　電話上一八一三番

寺町四條一の　確正札の店　そのや呉服店　京都寺町御池南入　電話上三三九番

矢でも鐵砲でもと強がる彼！實は赤玉の內助の效

赤玉ポートワイン

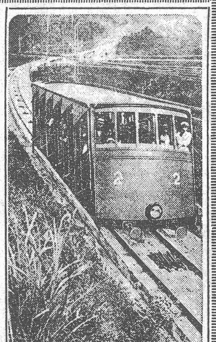
(卓上瓶は五十五錢)

782

聲なき聲の誘惑―夏來りなば山はまねく

京都から僅か四五十分の處にこんな夏知らぬ幽境のあることを諸君は御存じか……。馬に喰はす程あり餘る金のある人は、輕井澤へでも瀨戶內へでも、勝手にいらつしやいだ。僅かなお金を最も有効に使はうとする經濟人は猛然東北叡山へ避暑に！。ハイスピードでケーブルカーは上る！上る！君のポケットではこれと反比例に寒暖計の銀の觸手が下る！下る！。兎に角、京都より常に十五六度は低溫だ。其の外山上には遊園地・水泳場・運動場・休憩所等すべての設備が完成してゐる。おまけに夏は回數大割引券を發賣する。(寫眞はケーブルカーと空中索道)

京都電燈株式會社經營　叡山電鐵



價格理論の現狀

高田保馬

一

私の視野は十分に廣いとは云へない。從つて世界の學界をすべて隈なく見通した上の叙述であると云ふやうなことを主張するのではない。しかし平素寓目するかぎりの範圍から見たる價格理論の現狀を述べてみる。價格理論が理論經濟學自體の中心をなす點から見ればこれは理論經濟學の展望であるといつてよい。經濟學の特殊部門や、政策論については全然論及しない、私にさういふことをする資格はないのであるから。

以前はよく主觀主義と客觀主義の對立が云々せられた。前者は效用說、後者は生産費說（廣義に於ける）をさすのである。そして同時に主觀的なるものから如何にして客觀的なるものを說きうべきかなど云ふことも主張せられた。かう云ふことが價格理論の闘する限り、問題でないばかりでなく、今では、主觀主義對客觀主義の對立と云ふこともたいした意味をもたなくなつてゐる。

さう云ふわけはかうである。今日では價格を單に客觀的なるもの即ち費用の側から說明しようとするもの──昔の生産費說や或は勞働價値說は大體から見て代表的學說たる地位を失つてゐる。かう云へば、勞働價値說の主張者は反對されるかも知れぬが、それはなるほど、マルキシズムの中心觀念をなしてゐる。けれども、それは信念として生きてゐるので、科學として生きてゐるとは思はれない。それほど、價格理論の進歩はマルクス時代以來急速度のものであつた。限界效用說が打ちたてられると〻もに、二十世紀初頭に入りて、パレトが、選擇の理論でその一般的均衡理論を補つた──私は何も學說史的叙述をするのではない。今日代表的なる價格理論に於て對立が見らるべしとすれば、主觀主義の廣い意味に包括せられうべき範圍內に於ける對立である。即ち效用又は欲望の價格の決定に於ける作用を重視しながら、此作用を如何なるものと見るかについて多少の對立を示してゐる。

二

一方では效用の側から價格が決定せられると見る、この立場は最も純粹にヴイイン學派によりて代表せられてゐるといつてもい〻。たゞベエム逝き、ヴイイザアなくなつたとき、而してシユムペエタアが此立場に數へ得られないとき、之をそのまゝ墨守する有力の學者は少いやうに見受けられる。他方では效用の價格に及ぼす決定作用を根本に於て認める。けれども、なほ、費用の側に於ける、抵抗又は障碍の側に於けるあるものがこれと一しよに作用すると考へる立場である。これはむしろ英吉利學派と云ふ名稱を以てよび得るかと思ふ。これは輝けるマアシヤルの仕事によりて代表せられてゐる。而も、限界效用說の範圍に於ける創始者と考へらるゝゼボンスの見解そのものも亦同列に說く事が許されないであらうか。とにかく、此立場は折衷主義の名稱を以てよばれてゐる折衷と云ふことはあらゆる學問の歷史上に於て卓越せる天才の事業に冠せらるゝ形容詞ではない。多くの場合それは亞流の代名詞である。然れども、此場合に於ては決してさう見らるゝことを許さぬ。事實そのものが若し双方のものから決定せらるゝとするならば、折衷こそはまことの徹底であらう。勿論これは私がマアシヤル的立場に立つといふことを意味するのではない。

等しく效用の作用を根本に於て認めつゝも（或は理論の形式に於ては此作用を切りはなして考ふることパレトの如きにせよ）所謂部分均衡の立場にたゝず、すべての經濟的數量間の相互作用、相互依存を重視し、同時に價格の原因（價格を決定するものと云ふ意味に於ける其原因）を否認せむとするものがある。之はある原因があつて價格を一義的に決定するのではなく、價格は他の經濟的數量と相互に決定し合ふ一の事象に過ぎぬとするのである。此立場は一般均衡の立場と稱せられる。伊太利を中心とする數學派經濟學は即ちこれである。此學派が伊太利以外、佛蘭西、北米、英吉利、スカンデイナヴイア、波蘭などに有力なる代表者をもつことは云ふまでもない。

三

此數學派經濟學はそれ自體として重大なる意義をもつのみに止らぬ。今や、それは他の學派と結びつくことによりて、云はゞ他の學派に新なる生命を吹きこみつゝある。ヴイザアの直系シユムペエタアは數學派のレオンワラスの洗禮をうくる事により限界效用說に新なる形態を與へた。それは一般均衡の立ち從ひて價格の原因を否定するけれども、なほ限界效用原理の支配を認むる立場である。ヴイン派の純粹なる形式を守ると思はれつゝある學者の中にも、此一般均衡の考方はぐんぐんと喰ひ込んでゆく。新進ロオゼンシユタイン・ロダンの如きも一般均衡の見方を考慮の中心に置いてゐる。效用と他の要素との對立的意義を認むる立場所謂折衷立場とてももはや、一般均衡の見方と沒交渉であることが許されまい。前者はまた後者によりて新たなる姿を與へられなければならぬであらう。

私のまさに歩まんとする方向はさう云ふものの一つとして理解せられても、私は決してそれに抗議を持ち込むまい。たゞ私はかの勞働乃至勞働の苦痛を以て效用に對立せしめらるべき第二のものであるとは考へぬ。私はそれを社會的抵抗のうちに、社會的勢力のうちに求めてゐる。英吉利派的立場に極めて多くの眞實を見出す。而も、その第二のものは書き改めらるることを要すと見るばかりではない。それは一般均衡の見方から見直されねばならぬと考へてゐる。かく云へば、古典派以來の正常狀態又は自然狀態の考へ方は實質に於て一般均衡をさしてゐるのではないかと云ふ反論もあるであらう。私としてもこの議論を根本から否認しようとはしない。正常狀態の指すものは大體そう云ふものであるにしても、その詳細なる規定に至りては何等十分に探求せられず、意識的に展開せられてゐなかつたそこに伊太利學派から新に學ばるべきものがあるわけである。

四

伊太利學派、即ち數學派の經濟學には理論の峻嚴と精緻とがある。然しながらそこには形式の整齊がありすぎて、經濟のなかに動いてゐる生命の豐富なる內容が十分に捕へられない。此內容をつかむ事に於て成功してゐるのはヴイイン學派、英吉利學派であると云はなければならぬ。又伊太利學派にありてはたゞ各經濟數量の相互依存のみが高調せられる、そのうちにありて、決定的作用の中心が何處にあるかは十分に探求せられない。これが考察は他の學派に於て特につきこんで行はれてゐる。此意味に於て現代の經濟學理論の代表的なるものは、數學派の洗禮によつて新しき生命を賦與せられたる效用學說又は折衷學說であると思はれる。私はそこにシユムペエタア・アモンの理論の重大なる意義を見出すカッセルの意義もまたかゝる見地から認めらるべきものであらう。

日本の經濟學理論の範圍に於て數學派經濟學の研究漸く興らむとすることは最も喜ぶべき事實であるその先鞭が東京商科大學によつてつけられてゐることは周知の事實であるから、こゝに詳述せぬ。近時、北海道帝國大學講師早川三代治氏「數理經濟學序說」の新著がある。氏は嘗てデイイッエル・シユムペエタアについて學びたるのち、クルノオ・ワラス、パレト・フイシヤア、ボーレイなどの數學派經濟學の研究に沒頭せられてゐる。この著書はこれらの研究の後に得られたる理論經濟學說とも見らるべきもの。所論の內容について云へば異論がないわけではない數學派經濟學以外理論經濟學なしと云ふ主張については、それに對して抗爭するよりも、此學派に傾倒せられてゐる學問的情熱の表現としてむしろ敬意を拂ふべきであらう。その造詣は卷中至る處に示されてゐる。此書の出現を、それ自體の爲には勿論、日本に於ける此方面の研究の漸く起らむとする先驅として心から喜びたい。（昭和五年六月十九日朝）

近代政治の多元性

黒田覺

一

世界戰爭後、法律的政治的イデオロギーは大なる變化をうけた。概して云へば、戰前の法律的政治的イデオロギーは、近世の特色といはれる一元的思想であつたが、今日では之と相對抗して多元的傾向が存する。多元的であるといふのは、第一に、國家が現代の社會の中で特別扱ひされるやうな最高獨立な團體でないと云ふ意識である。かゝる觀念は、各種の國際團體、例へば國際聯盟やインターナショナルの發達や、國內に於ける勞働組合の發達や敎會の勢力回復等によつて發生したのである。第二に、それは、國家組織內に於ける、階級的意思の反映の制度化の意識の明瞭になつたことを意味する。政黨に就ても、利益代表の觀念が明瞭になつて來たし、又、從來の議會のみを以ては滿足せず職能代表に基く議會を要求したり、生産者の産業管理權を要求したりする。現に或程度まで之が成文化された國も存する。此の如き第一の場合と第二の場合とは互に相聯關してるのであり、かゝる傾向は、法律的政治的イデオロギーに於ては、國家主權の否認となつて現はれて居るのだ。

二

中世の國家は、封建制度の一連環として、上には、羅馬法王や、神聖羅馬皇帝があつたし、下には、封建諸侯が存したりして、理論的にも、實際的にも、相對的な、權力しかもたなかつた。生産者の團體もギルドとして或る程度の權力をもつて居た。此の如き中世の社會組織からどうして近世の主權國家が發生したかの根本的說明は極めて困難だが、兎に角、之は當時の種々の歷史的理由から次第に勢力を擴張して行つた、國王と都市經濟よりも國民經濟に利益を感じた當時の新興階級たるブルジヨアジーとの共同作業によるものだと云へる。君主の勢力が强大となるに從ひ、その勢力を絕對化せんとする要求が生じ、そのイデオロギーとして、君主の權力は最高絕對不可侵だと云ふ主權概念が發生したのである。かゝる觀念は、中世の羅馬法王の屬性として考へられて居たのは各國君主が繼承したのだ。主權論の發達を見るのに最初に君主々權論が發生し、後に民主々權論が生じたゝめ、此の表面上相矛盾する兩主權論の對立抗爭に、問題の中心がおかれがちであるが、此兩主權論が、君主乃至貴族と、ブルジヨアジーと云ふ二個の社會勢力の對立の問題として意義をもつたのは、專制君主制度が社會の生産關係の發展の桎梏となつた第十八世紀後半の問題で、最初はかゝる意味をもたなかつた。最初に於ては、君主々權論は君主の敎會、封建諸侯等中世的諸勢力に對する武器として用ゐられ、人民主權論は反つて敎會等の反動勢力から君主に對する武器として用ゐられたのであり、此當時のブルジヨアジーは君主々權論の支持者だつたのであり。けだし、ブルジヨアジーは、主權論に於て表現せられる中央集權的國家思想に利益を感じて居たからである。だから民主主義國家が成立しても、又、國法學者が國家主權論を提唱しても、君主國家より繼承した主權概念は何等の變更を被らなかつた。單に主權の名義上の所有者が變つただけである。近世國家は其の成立の當初からも見ても、ブルジヨアジーの國家だつたのである。事實君主國家の存在は、その發展段階の一くさりと見得るであらう。

三

主權否認の思想は、今日大體二個の方法によつてなされる。一は之を純粹法律學的に取扱ふのであり、之は、國際法と國家との關係の問題から生じた。元來主權の觀念が、羅馬法王の最高權の思想に由來するものであることは、前に述べたが、羅馬法王は、當時の全歐洲の法秩序體系の、最頂點に居たのである。處が國王が之を繼承することによつて、一個の全歐洲の法秩序體系は、數個の、佛國とか英國とか、いふ如き法秩序體系に解體せしめられたのである。そこで、最高不可侵なる主權國家が併存することゝなつた。元來之は論理的に矛盾である。最高なるものは唯一である。最高なるものが併存するのは、此の最高なるものより、より高きものがあつて、之れを同順位に置くからである。だから主權國家の成立と同時に、國際法の觀念が發達したのであるが、又上述の故にこそ、國際法は其問題の解決になやんだのである。處で國際法の勢力が未だ充分に發展しなかつた時代には、此問題はそう切實には生じなかつた。人々は、主權國家が自己の意思を自ら制限して、國際法上の義務を負ふのだとの說明で滿足した。が之は、國家が自己の意思を他の强制によらず制限することは、又、何時にても之を解除し得ることを意味する。之は國家意思外に客觀的に存するものとしての國際法の否認を其結果として生ずる。だから或人達は國際法は單に道德に過ぎないとさへ考へた。だがかゝる觀念は現在の國際法の實際と一致しない。成程今日の國家は、國際法上の義務違反の行爲をなし得る然し、其行爲に對する國際法上の責任は必然に之に伴ふ。丁度其の關係は、吾々が民法上の債務を履行しない場合に、その不履行に基く種々の責任を負はねばならぬと同じである。だから吾々が個人の意思の外に立つものとしての民法の存在を承認せねばならぬとすれば、同樣に、國家の主權意思の外に立つ國際法を承認せねばならぬ。之は主權の最高性の否認を意味する。之は主權自體の否認である。

五

他の一つの方法は、社會學的政治學的方法に於て試みられた。元來主權概念は政治的要求であり、イデオロギーであつた。それは國家內の凡ての個人、凡ての團體に對する國家の優越性の要求である。かゝる要求は國家の法律を通じて絕えず表示せられたのであり、此の如きものとして規定せられたのである。だからかゝる法規の意味內容の統一的把捉を任務とする法律學が容易に國家の屬性として最高不可侵、不可分との主權性を導き出したことは容易に首肯ける。國際法との關係に於て、國家の主權性を否認せんとする法律學說も、だから國家內に於ては、國家の他の一切に對する最高性の主張をすてないのである。

此の如き主張は、我々が法律學的認識の限界を充分に意識するならば、一應是認できる。我々が法律規範の認識の流れに身をおけば、そこには法律規範外の何物も存せない。道德的規範も宗教的規範も何等闘する所でない。茲では、法律規範は妥當するものと──價値的意味でなく──前提される。何故に妥當するかは問題でない。我々は法規の示す內容の意味を綜合的統一的に取扱つて、かゝる法規の妥當性が最高の法律規範から導き出されると假定することによつて滿足するのである。處が社會的規範も、道德的規範も、宗教的規範も何れもが、現に社會的に働きつゝあるものとして、同時に把捉される。實に此等の諸種のイデオルギーが互に相索制し、相反撥し、制限し合つてるのが現實の社會なのである。だから茲では法律規範は、その法規の命題が規定する通りには行はれて居ぬこと、從つて、國家が法規を通じての自己解釋も其儘他の社會、團體によつて承認せられぬことも想像せねばならぬ。國家は國民に戰爭を命ずる。或る宗敎團體はその反對を同一人に對して命ずるだらう。國家はその違反者に處罰を加へる。然し、その宗敎團體もその違反者に除名其他の方法で制裁を加へるに相違ない。此場合に、國家を他の社會と本質的に異る絕對者と假定するを得ない。此兩者を價値の圖式に於て其地位を與へるやうな、客觀的標準は存せない。各人の世界觀のみが之を決定し得るであらうが、之はすでに社會學的認識の限界を越えて居る。だから社會學的には、國家を他の諸團體と本質的に相違するもの、主權的として把捉することはできぬ。近世歐洲の歷史は、國家の主權性に闘する自己解釋に闘らず、これに對立する諸團體の存在を發見し得る。社會學的に此等のものを區別するのは、單に此等の團體のいとなむ機能の差に外ならぬのである。

六

前項に於て、社會學的意味に於ける主權否認の論理を私自身の方法に從て述べたが、右の論理は、論者の異なるに從ひ種々の方法で展開されて居る所である。之は今日の多元的國家論なる政治理論の基礎をなして居るが、私は今此問題に觸れて行く餘裕をもたぬ。たゞ次の事を注意したい。それは、國家の機能の現實の範圍が、次第に增加しつゝあることである。第十七、八世紀の國家と現在の國家とは其機能の範圍に於て大なる差がある。殊に大戰中、及び戰後に於ける國家の經濟的機能の發展は目醒しい。今日の多元的國家論者も此事實を否認するのではない。たゞ彼等は、國家の機能が如何に大なるにもせよ、國家は社會の一切の機能を包含するものでないとするのであり、又かゝる機能を批判し其の機能の範圍を縮少せしめんとするのである。

七

以上、私は主權否認の思想の大體を考察したが、之は現在の社會の階級的對立の尖鋭化を意識する場合にのみ、全般的に理解し得る。國際法關係に於ける主權の否認はブルジョアジーの世界的提携と密接なる關係を有するし、又、社會學的政治學的意味に於ける主權の否認は、階級對立の經過的是認に基くものと云へやう。一階級の絕對的勝利は又一元的イデオロギーを發生せしめるであらう。此意味に於て、ソヴイエット・ロシアはブルジョアジーの主權理論の繼承者だとも考へられやう。（六、三〇）

有益なる進化學史

小泉丹氏の「進化學經緯」をよんで

豐增勝夫

著者は著名なる動物學者で現在慶大微生物學の教授であるが近頃我國讀書子のために進化學說の通俗紹介の勞を取つて活動して居られる。即ちラマルク、ダーウインを始め、メンデル、ドラージ等諸生物學者の論著の飜譯の外に「思想」その他の誌上に長短十數篇の論文をも載せ、又特に文獻史に通ぜられ「進化學編年書史」を著はし、「岩波」の「生物學講座」でも文獻紹介をされてゐるが、この書も亦その博雜の一端を知るに足るものである。序文中に「進化學には數多の學說が相並び相競ひ相合し相斥けてゐるが、これを「たていと」と見做し、又それ〴〵の學說の發生發達の母胎であつた所の論者及びその時の環境の諸要約は、この上もなく貴いもので、これを「よこいと」と見做し、この二つの見方で進化學を取扱ふ」といふことである。本書の特徵としてはこの「よこいと」の方に、より多く力が注がれてゐるやうに思ふ。實際この「よこいと」の問題は、所謂、社會科學者に於ける流行問題に觸れるもので、頗る難解のものだと思はれるが、本書に於いては かなり詳しい、或は詳し過ぎるくらゐに書かれた進化論の傳記の配列によつて讀者に窺はしめんとしてゐる。從つて、本書は一見通俗的に平易に書いてはあるが、然し初學者向の進化學說入門書にはなつてゐない若し進化學說の變遷を紹介するのが本旨であるならば、もつと「たていと」方面に力を注いで、前後の連絡を示してやらなければ入門書の資格を備へるとはいひ難い。然し既に相當進化學說の邦語書を讀み、之に興味をもてる人のためには、有益なる著書であつて、一つの進化學史に相違ない。各所について文獻を擧げてある點は、殊に便利なものであらう。

總評は此位にして次ぎに目次を追うて簡單に紹介すれば、「進化論者の追憶」は二五三頁の本書中一六八頁も費した「よこいと」の資料である。之を更に分ちて、「進化論者の年忌」「ブユツフオンとゲーテ」「ラマルクとセンチレール」「ダーウインとウオレース」「ダーウイン記念の行事」と題してある。この中ゲーテについては彼の論文の內容まで示し、その進化學史上の位置について特に詳しく說いてあるのが目立つてゐる。ダーウインやウオレースのように自敍傳のあるのは多くそれにより、他のは文獻を示すに止めた點もある次ぎの「進化學說の展開」は、京都大學等で授けてゐるやり方では進化學の對象として、「進化の立證」「進化過程の攻究（系統關係、過程に於ける法則の探究）」「進化の要因の攻究」（必ずしも此術語を用ゐないけれども）と順序を進めて說くのであるが、本書では、最後の「要因」の諸說に限られてゐるのは聊か物足りないが、かゝる小冊子では止むを得ないかも知れぬ、本書では主體をダーウインの自然淘汰說に取りその要領を示し、其後の學界の情勢を述べて、隔離說、直達發達說、純系說、突變說、實驗遺傳學說を示し以てそれらを比較批判してある。而してその結論として、近年の學界の傾向は、各學說の主張する「要因」を全部是認し、唯一々の「要因」に相對的に、どれだけの重要性普遍性を認めるかにたいて、學者の意見があるに過ぎないといふ見解から本著者は「進化學變遷」と題せずして「展開」の文字を用ゐたわけだといふ。最後の第三章の「進化說非難の趨勢」では、我國に反し、歐米では、かなり盛んな生物學界でも、思想言論界でも進化說に對する異議が相當あると書いてある。著者は Phelps: Selected Articles on Evolution (1926) 等で、この方面の文獻を知り、その大勢を窺ひ宗教的方面に多いことを見出してゐる。而して論說の內容の批判を Zellers: Reason and Evolution (1927) について一例を示してゐる然し著者はこれらの人は前段に述べた進化學說の區分領域を解しないための曲解だとして敢て重きを置かぬやうである、予（紹介者）もその反對論の內容の無力を思ひ、態々書くこともないが、唯茲に著者がツエラースの「進化論者は唯物論者で宗教を排擊せんがための目的に力を入れてゐる者がある」の言葉を擧げて「自分はかねぐ社會主義文獻中に於ける進化說の取扱ひ方に就いて疑問を懷いてゐる。この方面にも進化說の討究よりも、利用することに忙しい樣子だ」といつてゐることに、世人の注意を喚びたい。我國には頑迷者が少いのか、それとも未だ全然之を學ばないのか、兎にかく進化說の非難に、浮身を窶す者のないのはよいが、然し裏に廻つて見るとその內容を吟味することなくして生存競爭とか鬪爭とかの術語を惡用する思想家も多いかもしれない紹介者は進化論の書中よりさうたやすく利用せらるべき原則は發見せられないと思ふ。利せらるべきは嚴正なる生物學的事實及び、其合理的考察のみであつて、生物學者の領域以外に持ち出して勝手に弄び得らる可きものではないと思ふ。此小進化學書の紹介にあたり、余も亦本著者と共にこれを言明し度い。（鐵塔書院發行・定價二圓二十錢）

海外モザイク

PQR

▼ユーシン・オニール　近信「ダイナモ」の香しくない批評にすつかり氣を腐らしたオニールは一體何處にどうしてゐるのだらう上海で突然の死が傳へられたと思ふとフランスで色話が聞えてきたりして、相變らずのジャーナリズのおいたに又もひつかゝつた態だが六月八日のヲアールド紙に久しぶりに彼とのインターヴューがのつた。筆者はヲツツといふ少壯記者。それによるとオニールはフランスのアルカデーで物靜かな思索と創作の生活を送つてゐるさうな彼は「ダイナモ」の失敗にこり〴〵してこれからは決してあはてゝ作品を發表しないと覺悟をきめて、命と根氣にまかして次の作品に精進三昧の生活を送つてゐるといふこの作品こそ、おそらく今年中には我々の目にはふれまいが、發表の曉は又々話題の中心になるに違ひない。オニールついでだが、彼の通ひ慣れたニユーヨークの隅つこの酒場も最近に禁酒法の勵行のおかげで姿を消した。彼がその酒場のものかげで、例のはにかみやのことだから、小さくなつてゐたのを、そこを繩張りの親分にひきずり出されて、一杯のカクテルに氣勢をつけて、自作の詩を朗讀したりしたのは有名な話。近所のプロヴインス・タウン劇作家同盟の事務所に陣取つた猛者連が、小言を言ひ言ひ、その時の演出家であつたオニールを呼びに來たものだ。その酒場はたしか「スワン」とか言つた名だつたが、惜しいことをしたものだ。

▼新聞戰術　廿一歳の少女が英國から濠洲まで易々として飛行したことは忽ち世界の刺戟狂を狂喜させた。各國の新聞は（日本のもお多分にもれず）筆を揃へて傳記を書くやら、家族を訪問するやら大童になつて奮闘してジョンソン孃はまさしく大空のジャン・ダークの地位に登つたが新聞側から見ればこの報導線で水ぎわ立つて巧みな戰をしたのはデーリー・メエルであつた。先づ思ひきりよくぽんと十萬圓を投げ出して、英國におけるジョンソン孃の講演權と、通信權を買つた。それから、それを種に、最近開通したばかしの英國、濠洲間直通電話を利用して、ジョンソン孃と故國の父母とを話さしてその會話を詳細に紙面に發表した。面白くない筈がない。「孃よ！お前は本當に偉いことをやつたね」「お父さん、でもなんでもありませんのよ、飛行機つて別に恐ろしいもんぢやありませんわ。」「所で孃早速だが、デーリー・メイル社がお前に十萬圓やらうといふのだがどうするかね」──さうね、まあ、お父さんのおよろしいやうに。」これが實に千數百哩を隔てゝの話だ。而も語る人は空のジャン・ダーク、聽く人はその實の父母。たとへ馬鹿らしいと思つてもこの記事が世人の評判にならねば評判になる記事はないのだ、それにデーリー・メイルはその所有者であるロザミア卿の「英帝國內自由貿易」の政策をこの飛行にちやんとくつつけてゐるのである。そしてこの可憐な勇者の口をかりて、「私の今回の擧が英本國と濠洲を結ぶよすがとなり、引いては英帝國內自由貿易實現の一助ともなりますれば何といふ事でせう。」と言はすことを忘れない。デイリー・メイルとは何と驚くべき多智多能な新聞であらうか。

CORONA PORTABLE TYPEWRITER
コロナハ携帶用ノ優秀器
英、佛、獨、露語、數、化、工學用凡テ完備

¥135.
東京銀座 黒澤商店
京都寺町三條 文適堂

菊地教授青島へ

農學部菊地教授は八月上旬青島で開かれる中國農學大會へ出席のため、近く渡支するが、同大會にはその他東大側から末松、田中、野口の三氏も出席する由

新刊紹介

◇大學の顚落（森戶辰男著）大學を今までなされなかつた社會的、文化史的觀點から根本的に檢討して、嘗ては我國文化の指導的地位を占め來つた大學が、「資本主義の彼方に横はる新社會」の建設に對しては既往の進步的態度を揚棄して完膚なき迄に反動的立場をとるに至つた事は即ち大學の地位の顚落だと叫ぶ。──東京同人社、價卅錢

◇日本憲政史（尾佐竹猛著＝現代政治學全集第六卷）本書のとりあつかふ範圍は我が國憲政の胎生期は幕末から第一期帝國議會まで、謂はゞ日本憲政の疾風怒濤時代の解說書として興味深いものだ──日本評論社、價一圓半

◇ソヴエート・ロシア文學の展望（ペ・コーガン著、黒田辰男譯）一九二七年まで十年間といふ極めて興味深い且つ重要な時期のロシア文學理論と作品の系統的、客觀的鳥瞰圖だ。著者の文學作家としての地位は革命の前後を通じて輕んずる所でない──叢文閣、價一圓

◇歷史を捻ぢる（長谷川如是閑著）文明批評家としての著者の地位はユニークだ、此書も亦辛辣な皮肉罵利な觀察、著者の獨擅場だ。人間の創つた歷史を如何に捻ぢるか柳瀨正夢の畫と共に必讀の快著だ──鐵塔書院、價一圓卅錢

◇科學者の科學（矢島祐利著）近代科學に輝く十五人のスケッチ、科學者の理論をその人間としての生活を忘れることなしに說かうとするもの──鐵塔書院、價一圓

◇外交餘錄（石井菊次郎著）四十年の外交生活を隱退して今悠々自適する著者の研究と所感の集錄、集める所悉く國際政治のヴイヴイッドな姿、我が外交史上得難い文獻だらう──岩波書店、價三圓八十錢

◇イデオロギーの論理學（戶坂潤著）人々の思想する方法は、時代によつて變化しなければならない。そしてその方法即ちイデオロギーの論理學について如何に多くの人人が論爭したとか、否、今日尙思想する人々にとつて、それは最大の關心事なのだ、さういふ人々にとつてはこの書の出現は、獲物を見た獵師の喜びであるに違ひない──鐵塔書院、價一圓七十錢

◇財政學大綱＝上卷（大內兵衞著）本書は著者の東大に於ける講義のテキストのためにつくられたものであるが、近代的社會科學の洗禮をうけた新しい財政學としての斯學の興味をひくものだらう──岩波書店、價一圓六十錢

◇民法總則（我妻榮著）民法總則といふものが、殆どこれまで定型的になつてゐたに對して、この書は新しい時代への法の適用を考慮してゐる點で注目される、勿論高文の參考書としても好著たるを失はない──岩波書店、價四圓半

◇商業政策（上田貞次郎著＝現代經濟學全集第十七卷）關稅問題は今日の經濟界殊に國際經濟界の大問題だが、この書は著者卅年の研究題目たる同問題をあつかつてゐる──日本評論社、價一圓

◇世界經濟年報＝8（ヴアルガ著經濟批判會譯）本輯で特に興味をひくのはアメリカの恐慌をあつかつた部分だ、繁榮のアメリカは一つの幻想として、このすぐれたる左派理論家の前に現實を暴露する──叢文閣、價一圓

◇失業經濟學（ホブソン著、內垣謙三譯）現下の日本に於て、失業問題は社會最大の關心事だ、政治家も實業家もこの對策に狂奔するこの書は、失業と不景氣に對する改良主義的救治策を提供してゐる──同人社、價七十錢

◇山日記　山岳の權威者によつて編纂された登山者の日記帳で、登山諸般の心得や山に對する知識を精細につけ加へたものである──梓書房版・一圓三十錢

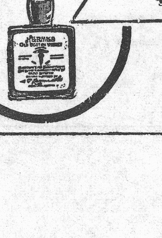
◇詩・現實　吾々が現實を觀極めるところに本當の詩が生れる、各方面の新人の力作を網羅した本書はどこまでも歷史を基礎として出發する！──武藏野書院・一圓卅錢

◇高等平面三角法（鈴木一郎著）──培風館、價二圓廿錢

▲理想（七、八月號）まじめな思索家の雜誌としてしられてゐる本書は單行本的價値を有する、本書にのせる所、安倍、戶坂、本多、渡邊、金子、氷上諸氏の自然論、如是閑、小島兩氏のインテリゲンチヤ論等々何れも貴重な論文だ──理想社、價五十錢　▲社會學徒（六月號）　▲MUSE（七月號）　▲風車（七月號）　▲プロレタリア科學（七月號）　▲學士會報（七月號）　▲優生學（七月號）

本號四ページ

眼鏡　正確廉價
專門
京都大學病院眼科
府立醫科大學眼科御指定
吉川眼鏡店
京都大學病院眼科小兒科前
電上一九 振替大阪二八七一八
獨逸カール・ツアイス會社　直取引

ヘルメス ウヰスキー

世界の名酒

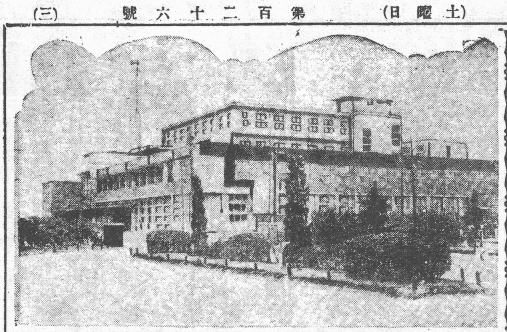
洋服は　京大共濟部指定　ナガヤ

大學ノート
御學、共濟部御指定により、毎日、法經學部控室二階に出張、確信のある優良品を提供致して居ります
文房具各種
鳩居堂

京都帝國大學病院前
白井直眼鏡店

政府の歳入見積激減は 本學豫算にも大影響

果して當局の要求を容れ得るか 編成難の實行豫算



來る十五日から 空研の操縦實習

希望者があれば 自動車操縦も始める

「こじんまりと まことまつてゐます」

すべてが白と白の交錯で 白以外は巾利かぬ

◇……大阪の北野病院の巻

大成功の街頭進出

名古屋の講演行脚 超盛況裡にをはる

四月も依然 對峙して讓らず

自由の傳統を護れと 三高生盟休に入る

學校を占領して 校門を閉す

朝鮮共産黨に 本學關係者

巡回講演 辯士決定

いよ〳〵上海へ！

野球部遠征に決定 後援會を設けて資途を仰ぐ

統計に現はれた 新入學生の年齢

五十七歳の老書生から 十九歳の少年まで

今様武者修行

劍道部の猛者が

新聞代を

お支拂下さい

馬術部合宿

東西工科教授の交驩

◇……よびものはテニス試合

どんな病氣が多い？ 健康相談所の統計

前年より三百增加

林間精常 夏季大學講座

洋服は 吉田神戸坂 藤馬洋服店 電上五三七七

洋服は 徒弟親方 共濟部指定 有本 帝大北門前 電上二六七七

洋服は 吉岡 電話西 ヲバヤ洋服店 電話上四六〇番

洋服は 神戸 元町 ヒロセ洋服店 電話上一四〇〇番

洋服は 徒弟親方 共濟部指定 有本 帝大北門前 電上二六七七

洋服は 吉岡 電話西 ヲバヤ洋服店 電話上四六〇番

洋服は 神戸 元町 ヒロセ洋服店 電話上一四〇〇番

洋服は 吉田神戸坂 藤馬洋服店 電上五三七七

クスリ 東山藥局 電上二一四〇

診察 看護婦 手術 實驗 御用は專門の 福田洋服店

肺病 養療候氣所 院 野上病

尺八 吉岡 電話西 ヲバヤ洋服店 電話上四六〇番

森岡齒科醫院 電話上四七〇番

山本製帽所

山本の麥稈帽

ストロハット ○四〇圓上 特價品 ○三圓 ○二圓五十錢 ○二圓 ○一圓五十錢 ○一圓 ○五〇以上 共他澤山

パナマ帽 ○五〇圓上 共他澤山

精常學園

高專大會せまる
參加各校の陣容は？

本學主催の高專諸大會開會まで餘す所僅か一週だ、炎熱卅度のもと、力と肉の壯絶極まりなきグランド・レビューが、我がスポーツ王國に展開される日、この日こそ一年間「血と涙」で築きあげられた「頑張れ」魂の意氣が沖天の勢ひで發揮されるのだ、今年の諸大會は都合十二、そのうち東京で行はれる陸上、籠球の二競技を除いても十種のスポーツは、吉田原頭に若きアスリートの一大バラエテイを出現せしめるだらう、フツトライトは既に點ぜられた、いま各大會參加諸校の新陣容を一瞥してみよう

覇權をめぐる？
粒ぞろひの六高か　堅陣を誇る松山か
【高專柔道大會前記】

今年の柔道大會は近來にない興味あるものだらう、優勝校の豫測は決して許されないが、先づ優勝候補の第一に指を屈すべきは六高と松山であらう、昨年惜しくも引き分けに終つた兩校だ、本年大會の興味の過半は兩校の決戰におかれてあると言つて過言であるまい、だが歷史と傳統とを誇る往年の覇者四高・古武者三高、八高、やうやく老練の域に達した松江、新進闘大、關學の存在は決して六高松山の安心を許さぬものがあるから、或は非常なる番狂はせが生じないとも限らない、戰を前にして混沌と言ふ字が最もよく戰前の雰圍氣を表してゐる、廿八日までに申込みのあつた學校を個別的にみれば──

【三高】老練なる寒二段を大將とし副將川道初段以下有段者合計六名、その精神的强みは或は昨年以上でないかと思はれる

【四高】部員の離反、部の改造、一度覇權を失つてから四高の歩み來たつた道は苦難そのものだ一昨年の部の大改造により、本年の選手は昨年と大差はない、巨軀三十貫の大味、老練小松、慓悍坂本の兩二段等、四高また侮り難いものがあるだらう

【六高】超弩級中川を送り出した六高は三段松谷を大將とし、菅井二段以下有段者十名、今年の强みは大將以下先鋒迄實力の伯仲してゐる事だ、先輩の言によれば昨年よりは數段强いとの事、就中松谷、菅井、三宅、東、河野の奮闘振りが期待される

【松山】本年は是非勝たねばならぬ年だ、それだけ先輩部員の意氣込みは物凄い、先づ大將團野四段、副將林三段以下二段七名、初段九名合計有段者十八名、林小林を始め堂々たる闘士揃ひ、老練なる術士揃ひ、長年の雌伏多年の惜敗、本年は如何なる戰ひ振りを示し、如何なる戰果を得るであらうか

【關大豫科】三段和氣、小島以下有段者十三名、古武者和氣、小島、田坂等の活躍が期待される

【關西學院】三段五名、二段九名初段九名合計有段者卅四名、蓋し有段者數では大會參加校の筆頭だらう、昨年始めて參加し堂々たる陣容に似ず無段者のみ八高に敗れ、徒らに本大會の權威を證明するに止つたが一年間の研究を經た今日昨年の關學を以て本年の關學を批評するのは當らない

【その他】大將中本二段、副將植月初段以下の廣島、新進氣鋭の浪速、初陣の京都醫大豫科、伊藤初段以下有段者十名の愛知醫大豫科、又八高、松江、京都高蠶、姫路等如何に戰かふ興味あるだ（尙柔道試合は、制服或は袴著用に非ざれば入場を許可しない由）

鬼氣堂に滿ちて 劍士の意氣燃ゆ
微妙な處で勝敗が分れる

劍道大會の參加校は例年の如く四十餘校を數へて若き劍士の力と力が相うつ爭覇戰は今や斯道の羅針盤として全國劍士の注目の的となつてゐるが本年度から二刀流は禁止し、且勝負中竹刀が折れたり其他使用に堪へざるに至る事二回に及んだときは負一本と見做すとの新規定が適用されるから、從來の如き弊害は一掃されて益々面目を改めて來ると思はれるが昨年の優勝校三高は大山を大將として再び必勝を期し、東北の雄、二高は前年の惜敗を雪ぐ爲不屈の意氣もて來るであらう、粘り强き四高は林を大將に、九州には、五高、七高　佐賀の古豪新鋭、又紫紺の旗をねらひ中國には堅實な攻擊と鍛錬の力强い六高あり東海に八高名高商、又昨年より參加を許された私立學校では、松山高商覇權をねらひ、又今年より三年以下のメムバーで來る關西學院あり、これに近來男々しき意氣に燃ゆる、各新設高校の猛進振り、自由に戰ふ高商、高工の强味、今から當日の盛觀が偲ばれる、まして劍道の勝敗は微妙な所に決せられるものであるから軈々しき豫斷は許されない唯不屈の意氣と平素の鍛錬こそが勝敗の數を決するものと信ぜられる、盛夏七月暑氣をものともせず京洛の野に雲集する全國數多の少壯劍士の堂々たる勝負は吾が學生劍道界の權威ある指導標たらしめるであらう。

高專大會に際し 文部省に物申す
大野熊雄

年々歲々盛大になり行く本學主催の高專大會も經費の點では少なからず苦心してゐる

本年度の大會は部數に於て十二、選手として來るもの總人員約三千七百六十、延人數にして二萬五千人、應援團とかその部の關係者を數ふれば四萬近くになる、この多數の學生が大會の爲め入洛するのである、一人一日平均三圓としても十二萬圓の金が京都に落ちる譯である、實際は勿論それ以上だが

學友會の支出豫算額は三千四百圓新聞社其他の補助金約一萬圓、これだけでこの國家的仕事を殆んど全部各部關係の學生の手でやつて行くのである

年々盛大になるのは勿論結構な事であり、大に喜ばしい事ではあるが膨脹し行く經費に對して制限された學友會々費のみでは、到底遂行不可能な爲め、當事者としての惱みがそこにあるのである、然し帝大と云ふ權威上つまらぬ所からの寄附は仰ぎたくはなく又商人からの援助は絕對に辭してゐる、こんな考へで行くとこの不景氣に仲々經費の點で苦勞する

今度京都市に觀光局とかゞ出來た、そこに相談して見てはどうかと教へてくれた人もあつた、この大會の爲めに旅館に落ちる金も少々ではない旅館組合にでも云ふたらと教へられた人もあつた、然し何れも不可能の點がある、市役所は兎に角、後者のお世話にならうとは毛頭考へて居らぬ

然らば將來如何にして行く考へかと問はるるならば、これは當然國家が卽ち文部省が援助すべきものだと思つてゐる、京都大學が現今日本に於けるスポーツの中心であるとまで叫ばれるに至る迄の先輩の苦心は並大抵の事ではなかつた。これは皆國家に代つてやつて來た譯だ、今後はどうしても文部省は無關心では居られまい、進んで援助の必要があると思ふ、將に現今の樣に學友會費が問題になつてゐる時極力その必要を認める

文部省には體育課が出來た、將來は局にしなければならない、然し課が局になつても口だけの奬勵では何にもならない、名實ともに奬勵しなければ體育局などの必要は勿論ない譯だ。幸ひ文部省にはスポーツをよく理解してゐる大臣參與官や山川男爵、岩原衛生官なども居られるので、智育にのみ偏した現代の教育をして、今少しく體育に重きを置かしめ、京大の如き國家的の事業をしてゐる所には極力援助する必要があり、義務がある事と思ひ文部當局者に一言する

參加校四十に達した 弓道競技大會

弓道大會今年の榮冠は果して何校の手に歸するであらうか、昨年の優勝校五高は優秀なる選手を送り出して新進氣鋭の選手を以てあくまでナンバーワンの地位を固守せんとしそれに對して古豪六高は練習と傳統の力を以てひた押しにおしよせるだらうが其の外に東京醫、廣島兩高師、名高工、熊本醫大豫科等の虎視眈々として榮冠を目ざす諸豪がある。參加校昨年は二十八校だつたが、今年は四十校の多きに達してゐるが十二の新進の中には東北、關東に有名な猛者福島高商、第二回の優勝以來初めて出場する愛知醫大豫科等のダークホースが存在してゐるのだ、尙、三高八高、大阪、高知、佐賀等の各高校は先輩の激勵の下に選手の意氣も物凄いとの事故本年度の優勝校は簡單なる豫想を許されない

高專大會スケジュール

◇射擊◇十二日──市外深草射擊場
◇卓球◇十四日──十五日本學學生集會所
◇柔道◇十五日──十九日（中部豫選）京都武德殿二十日──二十二日（全國決勝）
◇庭球◇十五日──二十日（本學ゾーン）本學コート
◇弓道◇十九日──二十一日、本學弓場
◇劍道◇十九日──二十三日、本學道場
◇排球◇十九日──二十日農學部テニスコート
◇籠球◇二十三日──二十六日東京府立一中校庭
◇水泳◇二十四日──二十五日（第三回全國高校水上競技豫選兼第六回中部高校水上大會）本學プール二十六日──二十七日（全國高專大會）本學プール
◇陸上競技◇二十六日──二十七日明治神宮外苑トラック
◇端艇◇二十六日──二十七日（高校）瀨田川コース、八月三日（中等學校）大津石場濱
◇野球◇十七日──二十四日（本學ゾーン）本學グラウンド二十七日──二十八日（全國決勝）甲子園グラウンド

旬餘に亘つて展開される大血戰
各地方とも全く豫斷を許さず
帝大聯盟主催の野球大會

先づ關西大會から概觀する──昨年の優勝チーム同志社高商、第一回大會に優勝した關學に指を屈しなければならぬが、實力以上に戰ふ高校チームからどんなダークホースがとび出すか決して豫斷を許さぬものがある。

同志社高商は名投手小島を失つたが敦賀商業の佐田を迎へ、スタフを示し、新進SS浦田、2Bの北山、攻守ともに洗練されたプレイを示すだらうし、關學は高橋、佐藤の好投に優勝の期待がつながれてゐる、更に大學チームとして同志社を破つた立命豫科、その他專門學校チームでは、高松、彦根、和歌山の三高商、福井高工、大阪齒科、京藥、大藥等々何れも白熱的接戰を期待されてゐる

更に高校チームは、例の「頑張れ」スピリツトで意外の番狂はせに觀衆を喜ばすことだらう

高校チームとしての大物に、昨年同志社高商に肉薄してその堅陣を脅かした四高、三高がある四高は白川投手を失つて新進小幡を立て、昨年のプレヤー笹川長尾、蔭山を退けて、新に石本（LF）戸苅（CF）尾舗（2B）を起用した築戰は他チームの驚異とする所だ、三高鈴木、太田のピッチングスタフが近來著しい進境を示してゐるが、昨年程の充實味はないやうだ、その他姫路、浪速、六高、甲南、高知の未知數や、本年新參加の日大專門部、同大豫科、關大專門部の中からどんなダークホースがとび出すか

次に他地方大會をみるに、東北大會では今年も二高の優勝ほゞ確實とみられ、小樽高商がどこまで肉薄するかゞ興味の中心だらう、東京大會は本年は激しい混戰を演ずるものとして豫想し難いが、橫濱高商、□□高工、一高などが優勝候補と目せられるが、今年は明治、法政、立教の豫科が出場すると噂されてゐるから、之等が加はれば形勢は一變するかもしれぬ、九州大會では、松山高商、長崎高商、佐賀高校、西南學院が優勝候補だらう

かくて甲子園原頭に展開される四大會優勝校の決戰こそ全國野球ファンの興味を集中するであらう（尙野球大會に入場の學生は必ず制服制帽又は袴著用のこと）

卓球の覇者は立大豫科か？

まだ申込を締切らぬ一日迄の參加校チーム試合個人試合を併せて二十八校と言ふ盛況である、元來デリケートな卓球はその日の調子でどうなるかわからないが幸田、稻塚、石橋と日本的に有名な選手を有する立大豫科を先づ擧げる事に躊躇しない、之に次ぐものに關東では早稻田、關西では昨年の當大會優勝校廣島高工既に衰へ、最近關西インターカレッヂで優勝した彦根高商、同ランナーアップ關學又ダークホースとして六高、高知商、大阪高、東亞同文等が數へられる次に個人試合を見るに先づ第一に關東及日本選手權保持者たる立教の幸田の優勝を疑ふ人は少いだらう、而しテニスのラコストにも例へられる關大專門部の中島の壁の如き守備に對してはどうなるかその一戰が今から待たれてゐる、之に次ぐ者として東では早高澤田、立教稻塚、石橋、大正大學、東商小笠原、日大の山田、西では關西學生界のナンバーワン彦根の藤村、同大豫科の福浦、大高寺島、關學大江、黑田、神戸商大專門部の大澤、六高上野等が數へられる

テニス
神商大不參加？
伊藤を持つ甲南高校と雌伏一年の東商大

庭球の本學ゾーンは本五日締切りなので、未だ參加校確定を見ないが、例年の參加校を基準として見る。尙今年から九大と協定の結果私立學校は委員會で認めたものは參加出來ることゝなり四年制の學校は三年迄出場資格を與へられてゐる、昨年の優勝校神戸商大專門部は桑原、石井の日本的選手を有してゐるが四年制の件で出場資格ないからメンバー揃はず不參加を傳へられるのは惜しい。神戸に代つて覇權を目ざすものは甲南高校大阪高校、東京商大豫專門部だ、甲南には日本ランキングプレヤー伊藤（兄）をはじめ楠本、上谷、伊藤（弟）の進歩は當に黃金時代を現出してゐる

一方、南、増山、山田と昨年と變らないメンバーを持つ大阪高校は所謂高等學校式の地味にコツコツと頑張るそこ力を有つてゐるから有望だ、昨年準決勝にて大阪高校に敗れてから東京にあつて技を磨く事一年而も村上相良、後藤、北岡と昨年と同一のメンバーを有して一昨年の覇權を再び繰返へさんとする東京商大軍の活動も期待されるが以上に次いで笹井、木野田、和田を有する和歌山高商、津田、相羽の居る大阪商大豫專部がティームとして目立つてゐる、新進田中、今中を得て復活せる三高がどこまで歷史を飾るか

大會のスタープレーヤーは六高の井尻、八高の坂本、彦根高商の三角、名古屋高商の加藤、井上組、高岡高商の尾崎等が噂に上るところである、一方九大ゾーンは長崎高商、大分高商、山口高商等が優勝の呼び聲高い。この兩ゾーンの勝者が本學コートに顏を合し全國の覇權を爭ふわけだが、本學ゾーンか將又九大ゾーンか

水玉は飛ぶ プールの爭覇戰
高校は高知か三高？
早高の優勝は確實

中部高校大會に出場する各校選手は各々覇權を目指して猛練習をやつて居る事と察せられるが、將して何校が優勝するか、未だメンバーは提出されて居ないから正確には分らないが以下各校の陣容を見渡して見やう

●高知──昨年の優勝校高知は大西正男、堀江安並等の有力な闘士を失ひ大なる痛手を受けたとは云へ超弩級大西正助を中心としその覇權を維持せんと努めて居る　優勝候補の一であるが少し物淋しさを感ずる

●三高──殆んど昨年通りのメンバーを有し自由型に原田、多屋ブレストに米田を擁するこのチームは加ふるに獨特の闘志を以て覇氣滿々として居る、有力な優勝候補たるを失はない

●松山──永年雌伏しつゞけた松山はバックの飛田を中心に新進中島を加へて往年の名譽を回復せんとしつゝある、粒揃ひであるから案外優勝するかも知れない虎視タン〳〵として猛練習に餘念がないと聞く

●廣島──闘將井出を送り出したが長距離の板野ブレストの佐和を擁して相當活躍するだらうバックの新進木下を得た大阪、自由型に鈴木を有する浪速も以上の諸チームの間に食込んで面白いレースを見せるだらうが、その他ブレストのピカ一、原を失つた姫路、六高、松江はダークホースとして如何なる活躍をするか未知數だ

要するに本年度は高知、三高、松山の間に物凄い白熱戰が演ぜられるものと思はれるが、近年頓に中等學校水泳界のレベルが向上したので中には素晴しい新進を迎へたチームがあるかも知れず是等のダークホースが如何なる番狂はせを演ずるやも計り難い、そこに多大の興味がつながれることゝなる尙八月二、三兩日福岡の大濠プールで全國高校大會が行はれる、中部大會は事實上全大會の豫選を兼ねるのであるから中部から選ばれた優勝校は中部を代表して全國大會に參加する事となるが、しかし恐らく西部の代表校となるであらう佐賀高校が斷然强いから中部代表校の全國優勝は望まれないであらう、尙本學の主催する全國高專大會は中部高校大會に續いて七月二十六、七兩日本學プールで行はれるが毎年の優勝校にして高山宮本、坂上、高橋、熊野、入江等の一流選手を有する早稻田高等學院が再び優勝する事は殆ど決定的だと云つてもよい、だからこの大會はチームの爭覇よりもむしろレコードの向上と個人的レースに面白い所が見られるであらう。

冷風を孕んで ボートはすべる
─優勝候補は何校？─

例年意氣と意氣との戰で瀨田の靈場に火花を散らす全國高等學校競漕大會の豫想を試みると先づ本年度の優勝候補として自他共に許すものとしては二高、四高、六高、高知の四高校が擧げられてゐる、松島灣の王者二高は昨年の初陣に於て脆くも南海の雄高知の爲め破れたので、今年は必勝を目指して猛練習中との事であるから必ずや一波瀾を捲き起さずには置かないだらう、次に四高、六高は毎年實力で依然第一の優勝候補と許されながら惜しい哉何時も無念の涙を呑んでゐるので、今年その意氣物凄いものがある、更に高知に至つては昨年惜しくも優勝戰に於て東海の覇者八高軍に破れたが、今年はメンバーに移動なく瀨戸灘にその技を練つてゐるから、その活躍も期して待つべきであらう、その他五高、七高、松山、松江等も優勝を目指し虎視耽々たるものあり廣島に至つては例年一回戰に八高の爲め破れてゐるので今年こそとがんばつてゐる、八高大阪が東京のクリンカー、エイト、への參加は此大會を多少物足らなくする感もない事はないが、本年度よりは三高の參加も噂されてゐるので例年にない大熱戰が演ぜられる事であらう

神商大か 八高か
興味ある排球

第三回全國高等專門學校排球選手權大會は十九、二十日兩日行はれるが、今年の申込校は前年に比較して遙に多數を示し、新顏として三高、四高、長崎高商がやつて來る、又名古屋高商も十中八九まで參加することが確實である、その他毎年出場する八高、大阪高、浦高、廣島高師、神戸商大專門部、日本體操學校と共に新進氣鋭の諸校が入り亂れて戰ふわけだが、優勝候補として見られてゐるものは神戸商大專門部、廣島高師、大阪高あり、八高は今年も覇權を維持せんとしてゐるが、新進三高、四高又榮冠をねらつてゐる

豫想される 三巴の激戰
籃球の豫想

昨年の優勝校成蹊は高校チーム中斷然頭角を抜き、東都各大學チームに伍して堂々のプレーをなしてをり、過般の極東大會にもCの田中、Fの井上の兩君が出場してゐる程だ、金子、永田、渡邊、高山を擁して陣容をかためてゐる、次に昨年のランナースアップ武藏は主將小高以下出たが尙充實したスタッフは成蹊の牙城をおびやかすだらう、主將G三浦、F岩田以下が頑張つてゐる、それから一回戰で武藏に敗れた成城は依然その根强さを維持し、過日武藏との戰に僅か三點の差で敗れてゐるが武藏と共に第二位の候補だ、然し元來がデリケートな、或は實力以上の或は實力以下の成績を示すものだけに如何なるダークホースの出現を見るか圖り知れない處に興味があるわけだ

榮冠の鍵は 最後の繼走に！
四百、投擲、跳躍の混戰を期待される陸上競技

全國三十有六校高等學校誇りの此大會は常に潑剌たる空氣と颯々たる闘志を以て終始されて來たが、回を重ねること五年、炎熱の二十六、二十七兩日明治神宮外苑競技場に開かれる、集るは意氣と熱の高校健兒五百、今當日の白熱の戰と盛觀を偲んで、戰前な豫想記を綴つて見れば

△短距離▽　先づ第一に一高に柴田君がゐる、百、二百の優勝確實とみられてゐるが佐賀に飯室君あり山口の田島君、三君の熱戰は期待の戰であらう、松江田村君、甲南松本君、山形益田君、三高山田君も息詰まる戰を演じるであらう、更に學習院松平君一高柴田君、松江小川君、甲南松本君北大豫科倉持君東京瀨川君、松本高橋君は伯仲の伎倆。覇を四百に爭ふであらう

△中距離▽　松本高橋君は現在八百に確實な地位を持つてはゐるが、山口藤下君も西にあつて覇を窺ひ、更に一高奈良橋君がゐる。更に北大豫科の倉持君佐賀假屋園君、五高井上君松山安東君の實力は當日偉觀の第一だ、千五百、五千も略同じだらうが甲南熊野君を先づあげ一高狩野君、北大豫科奧田君が爭覇の渦中に投じて來る、

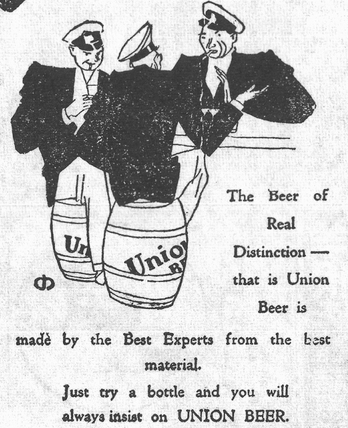
△障碍▽　三高秋元君、堀內君、傳統を守つてゐるが、松江に田村君あり、五高に不破君、福岡に加藤君浪速に大村君、四高に青木君あつて何れも新進の氣は銳、古豪の雄圖果して成るか、

△繼走▽　松江と山口の四百繼走、一高、松江、五高、學習院、松本の千六百繼走を見るべきものと思ふ、

△投擲▽　松本、渡邊君、四高河合君、六高村尾君、一高黑坂君、學習院永山君、廣島藤井君、山口倉本君、二高安齋君、三高川島君等多士濟々ではあるが、槍の藤井君。圓盤の安齋君砲丸の黑坂君、鐵槌の村尾君を先づ第一人者と推すべきか、

△跳躍▽　甲南山崎君、佐賀西田君、飯室君、六高北中君、講平君兄弟、松江田村君、北大豫科木村君、松本渡邊君、山口田島君、姫路宗君、三高堀內君千田君の名を擧げ得るが、甲南山崎君の走高跳、山口田島君の走巾跳は超高校級的驚異であり六高講平君兄弟の棒高跳、並に松江西田君の三段跳は大會の華であらう

以上通觀してみれば一高、松本、六高、佐賀の演ずる伯仲の戰が豫想される　然し今年も亦最後の千六百米繼走の覇者全國の覇王となるのではあるまいか、

Union Beer

The Beer of Real Distinction — that is Union Beer is made by the Best Experts from the best material.
Just try a bottle and you will always insist on UNION BEER.
Obtainable at any groceries.

白靴特價大賣出し
◇均一特價品◇ 船來防水リンネール製
A……七圓五十錢
B……六圓五十錢
C……五圓五十錢
（粗品進呈）
特別奉仕品（スポーツ用）
特價三圓八十錢
◇其他最新型・豐富品揃◇
（半）岡本靴老舖
京都・寺町・竹屋町　電話上3二七〇八

理想
七・八月號　（年六回發行　第十七號）　定價五十錢（送料六錢）
自然に就て……安倍能成
自然辯證法……戸坂潤
自然辯證法と其論理……本多謙三
自然美の概念……渡邊吉治
老子の自然觀……金子白夢
青雪の蠱惑（ゲオルゲの自然觀）……氷上英廣
インテリゲンチアの一考察……長谷川如是閑
インテリゲンチアと新興アカデミイ……小島威彥
生の哲學と歷史性の問題……竹下直之
フィヒテの宗教哲學……葉上照澄
ヘーゲル聯盟の創立……グロックナー
獨逸に於るヘーゲル研究とヘーゲル解釋……グロックナー
發行所　東京市麴町區內幸町一ノ五・內幸ビル　振替東京七八二〇三　理想社出版部

銘菓　都富士　銀沙
其他季節品　御進物用種々
諸士はティー・パーティー小御集會に御利用願上候
百万遍電停前
かぎや　菓舖　茶寮
上一七三四番

液体のパン
アサヒビール

大日本麥酒株式會社